

これは昔も昔も大昔のお話です。そのじぶんは今とすっかりちがって、ねずみでもくつをはいて歩いていました。そしてねこをかたっぱしから取って食べました。ろばもけんをつるして、いばっていました。にわとりは、しじゅう犬をおっかけまわして、いじめていました。こんなに、何でも物がさかさまだったときの

ことですから、今から言  
えば、それこそ昔も昔も  
大昔のそのまたずっとず  
っと昔のお話です。だか  
らいろんなおかしなこと  
ばかり出て来ます。しか  
し、けっしてウソではあ  
りません。そのころ、あ  
る国の王さまに、美しい  
王女がありました。その  
王女を世界中の王さまや  
王子が、だれもかれもお  
よめにほしがって、入れ

かわりもらいに来ました  
しかし王女は、どんなり  
っぱな人のところから話  
があっても、いやだ、と  
言って、はねつけてしま  
いました。世界中の王さ  
まや王子たちは、それで  
もまだこりないで、なん  
ども出かけて来ました。  
王女はうるさくて、たま  
らないものですから、と  
うとうお父さまの王さま  
に向かって「では、わた